

税関の年末特別警戒における副大臣、政務官の税関視察について

関税局監視課課長補佐 飯野 真五

1 はじめに

昨年11月の麻生財務大臣の東京税関の視察（注）に続き、うへの財務副大臣、鈴木財務副大臣、伊佐財務大臣政務官、渡辺財務大臣政務官が、昨年12月、全国9つある税関において実施した年末特別警戒において、それぞれ神戸税関、門司税関、大阪税関、函館税関を視察しました。年末特別警戒において副大臣、政務官全員が税関を視察するのは初めてのことです。

（注）麻生財務大臣の東京税関視察については、「ファイナンス1月号」にて紹介していますので、是非、ご覧ください。

2 年末特別警戒とは

税関職員は、覚醒剤等の不正薬物、爆発物等のテロ関連物資、金地金等の密輸を防止するため、24時間、365日、水際における取締りを行っていますが、毎年12月には、年末における密輸出入を防止するとともに、税関の役割について広く国民の方々に知っていただくことや、貿易関係の方々に不審情報の提供に関し協力

を求めることなどを目的として、年末特別警戒を実施し、税関検査の強化や税関業務のPRを行っています。

このような年末特別警戒は、昭和40年から実施しています。昭和40年という年は、前年に東京オリンピックが開催され、経済発展著しい時代でした。税関を取り巻く環境も、昭和39年に海外渡航が自由化されたことに伴い日本人の海外渡航者が急激に増加し、貨物の世界でも海上貨物のコンテナ化が進み、ジェット機の登場により航空貨物が増加する等、大きく変化した時期でした。

それから半世紀以上経った今日を見れば、昨年、訪日外国人旅行者が初めて3千万人を超え、本年は日本が初めて議長国を務めるG20大阪サミット、アフリカ開発会議（TICAD）、ラグビーワールドカップが開催され、来年には東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えています。また、本年は即位礼正殿の儀も予定されています。年末特別警戒が始まった昭和40年当時と同様、日本にとって、また税関にとって、非常に重要な時期を迎えています。

こうした重要な時期に行われた年末特別警戒において、副大臣、政務官が税関の現場を視察し、訓示を行い、そして税関職員を激励しました。

3 副大臣、政務官の税関視察

うへの副大臣、鈴木副大臣、伊佐政務官、渡辺政務官は、視察において、水際の第一線で職務に精励している職員に対し、「訪日外国人旅行者や航空貨物が急増している中、円滑な通関と厳格な取締りを両立のうえ、国民の安全・安心の確保という税関の重要な使命を果たしていただきたい。税関行政は日々国民と直接接する仕事である。国民からの信頼にこたえていくため、日夜懸命に職務に取り組んでいる職員に敬意を表するとともに、健康と益々の活躍を祈念する。」との訓示を行いました。



◆うえの副大臣の神戸税関視察（平成30年12月10日（月））

神戸税関ポートアイランド・コンテナ検査センターにて、麻薬探知犬「アキ号」による海上貨物の検査状況を視察しました。視察後、職員とアキ号に対して「たくさん走って御苦労様です。」と労いの言葉をかけました。その後、監視艇「こうべ」に乗船し、G20大阪サミット会場を巡視しました。



◆鈴木副大臣の門司税関視察（平成30年12月14日（金））

監視艇「げんかい」に乗船し、多くの船舶が行きかう関門海峡や門司港を巡視した後、福岡空港において、税関が摘発した金を実際に手に取り、その重さを体感するとともに、金密輸対策の1つとして導入したゲート型の金属探知機や旅客の検査状況を視察しました。



◆伊佐政務官の大阪税関視察（平成30年12月14日（金））

G20大阪サミットが開催される咲洲地区にある大阪港国際フェリーターミナルにおいて、神戸税関と合同による海上からのテロ警戒の模様、爆発物探知犬「アイゼン号」が火薬の臭いが付着した布が隠された箱を嗅ぎ分ける訓練の模様を視察しました。訓練の際には、伊佐政務官自ら号令をかける場面もありました。

（注）アイゼン号は「テロ警戒中 税関」「COUNTER-TERRORISM ENFORCEMENT CUSTOMS」と書かれたビブスを着用し税関のPRも行っています。



◆渡辺政務官の函館税関視察（平成30年12月13日（木））

函館港において、監視艇「しらかみ」に乗船し、海上保安部や警察などの関係機関と協力した取締状況についての説明に熱心に耳を傾けました。その後、函館空港においては、実際に税関検査台に立ちつつ、身辺に隠された金の密輸入事案等についての説明を受けました。



4 おわりに

副大臣、政務官が現場に足を運び、現場職員からの説明に熱心に耳を傾け、直接、職員に激励の言葉をかけていただくなど、税関職員にとっては大きな励みとなり、士気向上につながりました。

税関においては、今年から来年に向け、テロ未然防止のため水際対策を強化していきます。皆さまの税関業務に対するご理解とご協力をお願いいたします。また、海外旅行などで不審な情報に接した場合は、税関密輸ダイヤルに通報をお願いします。

密輸情報の提供のお願い

密輸防止には皆様の情報提供が大きな力となります。身の回りで「不審な貨物」や「あやしい言動をする不審者」などを目にした際は税関密輸情報窓口にご連絡ください。

税関密輸ダイヤル（24時間受付）

フリーダイヤル 0120 - 461 - 961

許しません シロイ（粉） クロイ（武器）

税関：密輸情報提供サイト

<http://www.customs.go.jp/mizugiwa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm>



税関密輸情報提供
サイトQRコード